

教育実践のまとめ方 —よりよい「実践研究報告」とするために—

滋賀県愛荘町立愛知中学校 教頭 久保田重幸

はじめに

1 「研究論文」と「実践報告研究」について

関西教育学会研究紀要規程 投稿規程

研究論文 : 学術研究のオリジナルな著述

実践研究報告 : 教育現場での実践または観察を含み、教育改善への視点を有する著述

1-1 共通点:論文の組み立て方は同様

- ・問題意識→先行研究→課題設定→論証→結論（考察）

1-2 相違点:「教育現場での実践または観察」、「教育改善への視点」の有無

- ・「教育現場」とは、「教育を与える立場」と「教育を受ける立場」から成り立つ場であることから、幼稚園、小中高等学校、専門学校、大学、企業研修、塾、予備校等の幅広い場が想定される。
- ・実践研究報告は、①「教育現場」における「実践または観察」であることや、②「教育現場」へ還元される「教育改善への視点」が含まれていることが必要条件となる。

2 論文の組み立て方について

2-1 問題意識

- ・「教育現場」における「教育を与える立場」からうまれる問題意識(A)
- ・領域等
 - 小・中学校の場合
 - 例 教科指導、生徒指導、進路指導、地域連携、学校マネジメント 等
- ・問題意識のスケール、「不易」と「流行」

2-2 先行研究

- ・「先行研究を批判的に検討している」（参考文献① p 212）(B)

- ・文献検索の方法
 - a 国立情報学研究所総合学術論文検索 CiNii (サイニイ) : <https://ci.nii.ac.jp/>
 - b 国立国会図書館蔵書検索 : <http://iss.ndl.go.jp/>
 - a、bは先行研究の概要、所在を知ることができる。
 - c 国立教育政策研究所教育図書館 : <http://www.nier.go.jp/library/>
 - cは教育関係論文の所蔵が多く、所蔵資料のコピーを依頼できる。
- ・論文の「引用・参考文献」を参考にして集める。
 - 「ヒント5『やみくも・イモズル・ねらいうち』文献資料収集」が参考となる。(参考文献② p 86)

2-3 課題設定

- ・「問題意識」と「先行研究」を踏まえて、提案性のある課題設定**(C)**

2-4 論証

- ・「具体例で語る努力をしている」(参考文献① p 215) **(D)**
- ・イメージで終わらず、数値データを用いて**(E)**

2-5 結論(考察)

- ・「主張が明確である」(参考文献① p 210)
- ・提案性のある「教育改善への視点」を含む**(F)**
- ・「じつは、本当に面白い論文というのは、仮説のさまざまなことを検証していく過程で、仮説通りになりかかったけれども、一度検討してみたら、予想の展開と違って、仮説よりももっとすごい答えが出てきた、という場合なのです」(参考文献③ p 195) **(G)**

おわりに

〈参考文献〉

- ① 小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書、2002年。
- ② 小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書、2009年。
- ③ 鹿島茂『勝つための論文の書き方』文春新書、2003年。